

★洪水を防ぐ工夫を考えよう！（第2弾）

～理科専科の教師による防災教育を実施～

11月21日に武雄市立御船が丘小学校5年生の理科授業で「理科専科」の教師に防災教育を実施していただきました。

「理科専科」の教師とは、小学校で理科を専門的に教える教師のことです。小学校では今年度からの新しい取組で、佐賀県内で4校のみです。

武雄市（六角川流域）では、初めて実施してもらいましたが、電子黒板を活用して当事務所から提供した電子データを元に授業の進め方に合わせて加工して使われていました。

理科の授業にもかかわらず、避難ルートの考え方など社会科授業の要素も取り入れて、進めていただきました。この授業を受けて、家族で防災について話し合ったり、地域での防災に対する関心が高まってくればよいと思います。

今年度は理科では2校（唐津市1校、武雄市1校）実施していただきましたが、アンケート結果を基に来年度に向けて改善していきたいと思います。

次回は翌年2月頃社会科で3校（唐津市1校、武雄市2校）で実施予定です。

実際の授業の流れ

電子黒板で写真を提示



気づいたことを発表する児童



めあて：洪水を防ぐ工夫について考えよう

洪水を防ぐ手立てを調べる



洪水を防ぐ手立てを紹介



施設で防ぐ以外の手立てを事務所から紹介



避難ルート探し



環境を考えた川づくりの工夫を知る

